基調講演

日本の資産運用業界への期待

金融庁総合政策局審議官（監督局担当）
井　藤　英　樹

目　　　次

１．はじめに
２．金融行政の重点施策

１．はじめに

金融庁では、毎年、行政方針を公表しており、今事務年度のテーマは「変革期における金融サービスの向上」である。現在の日本は、金融に限らず、非常に大きな変革期にある。予算面で科学技術を担当していたときもあったが、その当時は、コンピューターが進んでも人間には及ばないと考えられていた。しかしながら、デジタライゼーションの発展は非常に目覚ましく、かつてはSFの世界でしか考えられなかったものが、急速に社会実装されるような時代になっている。新しいテクノロジーは、非常に便利で私たちの社会を豊かにするようなサービスを色々と生み出してくれている。ただし、こういった発展には、光もあれば影もある。例えば、かつて、自動車が浸透したこと

井藤　英樹（いとう　ひでき）
1988年東京大学法学部卒業、同年大蔵省入省。90年ジョージタウン大学経営大学院留学、MBA取得。94年札幌国税局旭川東税務署長、97年大蔵省証券局証券業務課課長補佐、98年同金融企画局市場課課長補佐、99年同主計局主計官補佐（科学技術第一係主査）、2000年同（内閣第一係主査）、01年財務省主計局主計官補佐（内閣第一係主査）、01年７月同（文部科学第一、第二係主査）、03年外務省経済協力開発機構日本政府代表部一等書記官・参事官、06年財務省大臣官房文書課広報室長、09年金融担当大臣秘書官事務取扱、12年金融庁監督局銀行第二課長、13年財務省主計局主計官（文部科学係担当）、15年金融庁総務企画局政策課長、17年金融庁総務企画局参事官（検査局・官房・地域金融生産性向上支援担当）を経て、18年７月金融庁総合政策局審議官（監督局担当）。19年７月より金融庁総合政策局審議官（市場担当）兼公認会計士・監査審査会事務局長。

〈肩書きは第10回SAAJ国際セミナー開催時〉